

# 第5回 ナレッジイノベーションアワード 高校生アイデアコンテスト 募集要項

テーマ 未来の“私の”仕事を考える

## 応募について

### 応募資格

日本国内在住の高校生であること（国籍は問いません）

### 応募方法

郵送 本応募用紙を封筒に入れて事務局へ郵送 ※応募用紙は返却いたしません。

送付先：ナレッジイノベーションアワード事務局 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪  
ナレッジキャピタル7階K708 株式会社スーパーフェスティバル内

Eメール デジタルデータを送信 応募用紙記入面のスキャンデータ等を下記アドレスへお送りください。

送付先：kia@kc-i.jp  
※読める解像度、濃さであることを事前に確認してください。件名に「高校生アイデア部門応募」とご記入ください。  
※受信確認後、事務局より受付完了メールを送ります。ご応募頂いて3日以内に返信がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。※メールサイズは5メガバイトまで。

### 賞



ほしいものチケット  
(5万円相当)



ほしいものチケット  
(3万円相当)



図書券1万円分



図書券3,000円分

※ほしいものチケットとは、受賞者の「ほしいもの」を進呈する未来応援チケットです。

## 選考について

●本応募用紙の各STEPに書かれた内容を元に選考します。  
表現は、文章・イラスト・図・表など自由です。

●ひとり何点でも応募可能ですが、1作品あたり1枚の応募用紙でご応募ください。

### 選考基準

- 未来を見えた具体的なイメージを提示しているか
- 独創的なアイデアを描いているか
- 今ある仕事の内容にとらわれない自由な考え方
- 自分が考える社会の未来像をとらえているか

### 選考委員 ≈50音順

★選考委員長 河口 洋一郎 [東京大学大学院情報学環 教授 / CGアーティスト]  
コンピューターグラフィックスの世界大会「シーグラフ」で高く賞賛された世界的CGアーティスト。

伊藤 恵理 [日本学術会議 連携会員 / 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究センター 研究員 / 國際航空科学会議(ICAS) 常任委員]  
「空は一つ」をモットーに、世界の空を駆けながら、空の旅の裏側に広がる航空管制を科学する研究者。

遠藤 諭 [株式会社角川アスキー総合研究所 取締役 兼 主席研究員]  
雑誌編集をはじめとして、ビジネスからサブカルまでの評論や執筆活動を行っている。

塩瀬 隆之 [京都大学総合博物館准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与]  
心理学や科学などの観点から「伝わるとは何か」という本質的な問いを研究している。

清水 陽子 [アーティスト / 研究者]  
バイオテクノロジーなど先端科学を使う技術やデザインを研究し、世界で発表しているアーティスト・研究者。

村上 憲郎 [村上憲郎事務所 代表 / 前Google日本法人名譽会長]  
Googleをはじめとする日本、外資系企業などで経営にたずさわっている。

安田 洋祐 [経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科 准教授]  
ゲーム理論の観点から現実社会を分析し、様々な制度設計を研究している経済学者。

ナレッジイノベーションアワードについて  
アワードは、「ナレッジキャピタル」のミッションである「産業創出」「人材育成」の一環として開催しています。ナレッジキャピタルから生まれる多彩なアイデアによる「ナレッジイノベーション」の具体的な成果を広く社会に発信する取り組みです。ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を評価する「ナレッジキャピタル部門」、一般学生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」の3部門で構成しています。昨年度は、中学生・高校生合わせて4,537のエントリーがありました。

応募締切 1.16 (火)  
※郵送は当日消印有効、Eメールは1月16日23:59まで受付。

書類選考：2018年1月下旬予定

公開プレゼンテーション・最終選考会  
2018年3月21日(水・祝)

書類選考を通過した17名の方には、3月21日(水・祝)グランフロント大阪にて開催の「ナレッジイノベーションアワード 公開プレゼンテーション・最終選考会」にご招待いたします。また、上位入賞者7名には、当日応募内容のプレゼンテーションを行っていただき、各賞を決定いたします。書類選考の結果は、2018年2月下旬にご連絡いたします。

### 【応募規定】

●応募者は、応募の時点で本応募規定に同意するものとします。  
●応募作品につきましては、返却いたしませんので予めご了承ください。(応募時に各自コピーを保存されることをお勧めします。)●応募作品は、未発表のオリジナル作品のみとさせていただきます。●応募作品の取り扱い、管理には十分注意いたしますが、不測の事故による損傷につきましては、主催者は、一切の責任は負いませんので、ご了承ください。●第三者の権利を侵害している作品は、選考対象外となります。また受賞後に発覚した場合は、主催者は、受賞の取り消し及び、副賞等の返却請求ができるものとします。

### 【作品の使用及び著作権について】

●応募作品は、オリジナル作品であることを条件とし、第三者の著作権、肖像権、商標権、及び個人のプライバシーを一切侵害せず、公序良俗に反しない作品にしてください。●応募作品の著作権及び知的財産権は応募者本人に帰属しますが、主催者が判断にてwebサイトや広報誌などの公開、イベントでの展示に無償で使用することができますとします。掲載・展示方法などにつきましては、作者との協議の上決定いたします。

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル

後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪府教育委員会 / 京都府教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 京都市教育委員会 / 茨木市教育委員会 / 大阪私立中学校高等学校連合会(予定) / 京都府私立中学校高等学校連合会 / 兵庫県私立中学高等学校連合会 / 奈良県私立中学高等学校連合会 / 滋賀県私立中学高等学校連合会 / 三重県私学協会 / 一般財団法人大阪教育文化振興財団(2017年9月末日現在)

応募受付 / お問い合わせ  
ナレッジイノベーションアワード事務局  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708  
株式会社スーパーフェスティバル内(担当:西川)  
Tel:06-6131-6881(平日10:00~18:00)  
Mail:kia@kc-i.jp  
※選考に関するお問い合わせはご遠慮ください。



Knowledge Innovation Award

# 未来の “私の”仕事を 考える

応募締切  
2018 1/16 TUE



第5回 ナレッジイノベーションアワード 高校生アイデア部門 応募用紙

この絵について：アルベルト・ロビダ(Albert Robida)  
「20世紀」より。[PD-US] 19世紀に生きた彼が、未来  
である20世紀の生活を空想して描いた絵のひとつです。

ナレッジキャピタル

http://kc-i.jp/award/innovation/



KNOWLEDGE CAPITAL  
ナレッジキャピタル

# 高校生アイデアコンテスト 未来の “私の”仕事を 考える

※全てご記入ください。

大阪駅の北側、グランフロント大阪にある知的エンターテインメント大空間  
「ナレッジキャピタル」が開催する「高校生アイデアコンテスト 未来の“私の”仕事を考える」

- ・まだはっきりとはしていないが、やりたい仕事がある
- ・自分の好きな事や得意な事を仕事にしたいと考えている
- ・新しい仕事や働き方を追及してみたい

そんなあなたにぜひ取り組んでほしいと思っています。未来を描くことができた受賞者には、未来を応援する  
「ほしいものチケット」をプレゼントします。ぜひ、この機会にあなたの豊かな想像力を発揮してみましょう！

学校名

学年 (歳)

ふりがな  
お名前

もしグランプリをとったら  
何が欲しいかを書いてください。

事務局からの連絡手段 ■電話番号

■メール

裏面の【応募規定】【作品の使用及び著作権について】の内容について確認、同意頂いた方はチェックをお願いいたします。 ▶  同意する

※ご応募によって頂きました個人情報につきましては法令その他の規範を遵守いたします。プライバシーポリシーにつきましてはこちらをご覧ください。<http://kc-i.jp/privacy/>

STEP 01

## 将来の仕事について 自由に想像しよう

今、あなたが将来就きたいと思っている仕事、もしくは興味がある仕事はありますか？また、なぜその仕事があるのか想像してみたことはありますか？その仕事は、現代社会でどんな役割があると考えられるのか、書いてみてください。

※興味のある仕事が特にならない人は、自分の趣味や好きなことが仕事になるとしたら、それは社会でどんな役割をもつらうのか想像して、書いてみましょう。

発想のヒント▶世の中にどれだけの仕事があるか知っていますか？インターネットや図書館、本屋であなたの好きなコト・モノ + 仕事をキーワードに検索、調査してみましょう。

仕事

社会での役割(なぜその仕事があるのか)

STEP 02

## 将来の仕事について 考えてみよう

STEP1で書いた仕事(職業)が属する分野、業界は現在どのような状況だと思いますか。また未来はどうなると思いますか？現在と未来を文章や図やグラフ、イラストを用いて表現してみてください。

発想のヒント▶未来について考えときは、本やインターネット上で公開されている「統計」「推計」が重要な手がかりになります。あなたの想像と、データを組み合わせて未来を推測してみましょう。

STEP 03

## “私の”仕事を つくりだそう

STEP1～2で考えた内容をもとに、あなたが未来のトップランナーになることをイメージして、その時、具体的にどんな仕事をしているのか、アイデアをふくらませて書いてみましょう。（表現は、文章、イラスト、図、表など自由です。）

※トップランナー…ある分野の第一線で活躍する人／これまで誰もやったことのないような、新しいことにチャレンジして、未来を切り拓いていく人

発想のヒント▶これからは新しい仕事をつくりだす時代だと言われています。すでに世の中にある仕事だとしても、あなたの好きなことや興味があることを組み合わせることで聞いたことのない仕事が生まれるかもしれません。

STEP2の考えも活かしながら、あなた自身の仕事を創造してみましょう。裏面の選考基準も参考に！

STEP 04

## 未来を伝える

伝えた相手  
※例：友達、親、先生など

あなたが考えた未来の仕事を、なぜその仕事ができるのか、その背景も含めて身近な人に伝えてください。

そして、その人の感想や意見など、聞き取った内容をまとめてみましょう。※感想の内容そのものが選考に影響することはありません。

★ 最後に、トップランナーになったあなたの  
その仕事を、一言でいうと…

# 第5回 ナレッジイノベーションアワード 中学生・高校生アイデアコンテスト

## お助けシート



多方面にわたる分野のトップランナーである選考委員からのメッセージです。これらのメッセージには、未来の仕事を考えるためのヒントが沢山つまっています。あなたの想像力を発揮して、中学生・高校生アイデアコンテストに是非取り組んでみてください。



選考委員長  
河口 洋一郎

東京大学大学院情報学環 教授 / CGアーティスト

コンピューターグラフィックスの世界大会「シーグラフ」で高く賞賛された世界的CGアーティスト。

『生命知のインテリジェンス』～中学高校の夢が基本～

生まれ育った青い海や珊瑚礁、色彩豊かな魚に囲まれた種子島の環境が、私の生き物へのネイチャーテクノロジーの関心を育んだのかもしれない。赤や黄、緑などの色とりどりの魚の紋様に、なぜこんなに美しい紋様が生まれるのだろうか？しかも、どんな味がするのだろうか？成長のプロセスは？疑問が尽きなかった。生物の進化や遺伝をいろいろ夢想するのに絶好の環境だった。この疑問が、将来コンピューターグラフィックスでの映像とシミュレーションへの関心に繋がってきた気がする。種子島にはアカヒゲと呼ばれるさえずりが美しい赤い鳥がいる。小川のせせらぎで遭遇すると感動ものである。コマドリの近似種として不思議な存在で、サバイバルする自己進化の面白さが存在する。中学・高校の時、アマゾンのジャングルには見たことのない美しい鳥がいるかもしれないと考え、世界地図を広げて夢想する日々に明け暮れ、将来、是非訪ねたい願望を持ち続けた。アートを生命体として考えるとサバイバルである。結果的に、アマゾンの密林やパンタナールの大湿原に何回も訪問ができる、ビラニアやワニと格闘できたのは幸い！種子島には宇宙センターができ、宇宙が近くになった。大空の彼方に飛んでいくロケットを眺めながら、宇宙探検に行く夢を中学・高校の頃には持ち始めた。やがて惑星探査しながら、未知の生命体に遭遇する夢へと拡がって行った。宇宙に生命は存在するのか？生命知のインテリジェンスの進化はどう起きるのか？惑星探査の夢は、自ら自己組織化する芸術生命体を考えるきっかけに繋がっている。



伊藤 恵理

日本学術会議 連携会員 / 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 / 「空は一つ」をモットーに、世界の空を駆けながら、電子航法研究所 主幹研究員 / 國際航空科学会議(ICAS) 常任委員 空の旅の裏側に広がる航空管制を科学する研究者。

子どもの頃の私は、「働く女性」に憧れる女の子でした。初めて憧れたのは、国連の難民高等弁務官を務めた緒方貞子さん。英語でスピーチしている彼女の姿をテレビで見て「かっこいいな！」と感動しました。その影響で、将来の夢は「国連の弁務官」と小学校の卒業文集に綴っています。世界で活躍する女性になりたいと、未来を夢見たのです。次に憧れたのは、ジブリアニメ「紅の豚」に登場するフィオ・ビッコロさん。彼女は、飛行機のエンジニアで、主人公のパイロットが操縦する飛行機をつくったのです。「めちゃくちゃかっこいい！」と、私はまた感動していました。空を見上げれば、飛行機雲が流れています。あの飛行機はどこに飛んでいったのだろう？飛行機に乗れば、私を新しい世界に連れて行ってくれるに違いない。そこには、どんな世界が広がっているんだろう？まだ見ぬ大きな世界へのワクワクと、自由と冒険の象徴だった飛行機に魅せられて、少女は大人に成長し、飛行機と空の旅にかかる「航空管制」の研究者になりました。今では、子どもの頃に夢みたように、国連の専門組織が開催する民間航空機の会議で、英語の発表をすることもあります。“夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし”故に、夢なき者に成功なし”

これは、私の好きな言葉です。未来を夢みること。そのパワーこそ、未来の扉を開ける原動力なのです。



遠藤 謙

株式会社角川アスキー総合研究所 取締役 兼 主席研究員

雑誌編集をはじめとして、ビジネスからサブカルまでの評論や執筆活動を行っている。

“みんな”的ことを考えることが、つまり「仕事」

最近は「伝記」シリーズの中にアップルの創業者スティーブ・ジョブズが入っています。そうです、世界的な人気製品である「iPhone」の生みの親です。世の中には、自分の子どもに「伝記」を読ませたくないという保護者の方もおられるそうで、なるほど、伝記になるような人は世の中の出世コースからは外れたといえる人が多い。スティーブ・ジョブズもその典型で、学校の成績がバツグンだったのかというとそうではないらしい。それじゃ、コンピューターの天才か？というと、『ハッカーズ』という彼が活躍し始めた頃に書かれた本を読むと、むしろそうじゃないと書いてある。それでは、なぜジョブズは、どうやってあれだけのすばらしい仕事ができたのかというと「これから世の中を変えるであろうコンピューターを人々に届ける」ことを考えたからだろう。ジョブズが、25歳で自分の会社を株式公開したとき、当時の新聞は、彼をヘンリー・フォードに例えた。自動車の発明者ではないけど、みんなが自動車に乗れるように値段がやすくて使いやすい「T型フォード」を作った人ですね。仕事としてやっていくには、大成功ではなくてもある程度はうまくいかないと続けれれない。ジョブズは、ほかのコンピューターの作り手たちと何が違うのか？「作る」ことではなく「届ける」ことを考えた。自分が考えた仕事を将来の仕事にするには？

「みんな」のことを考えることが、つまり「仕事」ということを理解することです。



塩瀬 隆之

京都大学総合博物館准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与

心理学や科学などの観点から「伝わるとは何か」という本質的な問いを研究している。

「好きなこと選んだ仕事との距離を縮める力」をぜひ身につけてもらいたいです。いまの仕事が10年後も20年後も存在するかどうかを心配するのは、時間の浪費です。好きなことを仕事に選べるかどうか、それはスタート地点のちょっとした差でしかありません。「好きなこと」も自分自身の成長にそってどんどん変化するかもしれませんし、選んだ仕事も期待通りかどうかわかりません。自分が望むと望まざるとかかわらず、きっとそこにはズレが存在し、そのズレも時々刻々と変化していきます。しかしこのズレを前にして、好きなことに目をつむってしまいそうになる瞬間が訪れることがあります。イソップ寓話にある「すっぱい葡萄」の物語では、美味しい葡萄を見つけたキッセが何度跳んでも届かない葡萄に対して、「どうせすっぱいに違いないからあんなもの欲しくない」と捨て台詞を吐いてその場を去ってしまいます。このズレの前に誰もが諦めたくなる気持ちを表した寓話です。このズレに立ち向かう力の一つが、学ぶ力です。どんな仕事をしていても、必要とされる力はその都度かわります。その変化に適応できるかどうか、どんなズレだとしても埋めようとする気持ちが大切です。人一倍学ぶことで、人一倍自分の好きなことに近づけることができるはずです。「好きなこと選んだ仕事との距離を縮める力」、これが今考えたどんな仕事も未来の仕事として実現するでしょう。



清水 陽子

アーティスト / 研究者 バイオテクノロジーなど先端科学を使う技術やデザインを研究し、世界で発表しているアーティスト・研究者。

小さい頃から自然と生き物が好きで、その美しさに惹かれています。また、京都やニューヨークなど、日本や海外の芸術に触れながら育ったので、様々なアートのレッスンも受けてきて、芸術家になりたいなとも思っていました。大学は理系の生物学を選択するか、文系の芸術大学を選択するか悩みましたが、生命の美しい構造や仕組みを大学の研究設備で学びたかったので、生物化学を選びました。まだ科学と芸術をどう組み合わせればいいのかわかりませんでしたが、とにかく好きなことは何でも学んでみようと思いました。卒業後、制作会社でクリエイティブ・ディレクターとして経験を積んだ後、もともと好きだった科学と芸術を組み合わせたプロジェクトを個人的に立ち上げ、発表するようになりました。最初はあまり受け入れられず、「科学と芸術に何の関係があるの？」とよく言われましたが、やがて賞をいただいたらメディアで取り上げていただくようになりました。今はバイオデザインのラボを運営して、国内や海外のミュージアム、ギャラリー、イベントでの展示や、企業や大学とのコラボレーションやメディアでの活動へと広がり、毎日ワクワクした気持ちでいっぱいです。未来の仕事を考える時、やってみたいことは、まだ世の中に存在しない仕事かもしれません。失敗を恐れずに何でもチャレンジして、興味のあることは何でも学んで、かけがえのない人生そして未来を是非切り開いてみてください！



村上 憲郎

Googleをはじめとする日本、外資系企業などで経営にたずさわっている。

自分自身、中学生や高校生の頃に「将来どのような仕事につきたいか」を考えていたかどうか、正直、自信はない。ただ、高校1年の担任で数学の先生だった宮崎大吉先生に、相対性理論や量子力学といった、良くは解らないが、とにかく摩訶不思議で、しかし、わくわくするような先端的な物理学への目を開かされて、結局、理科系の道を歩むこととなった。70歳の現在に至ってやっとではあるが、たまたま量子コンピュータといった関連分野の仕事にも携わらせていただきおり、幸運なことだと感謝している。私は、そのような僥倖に恵まれたが、皆さんもいつの日か、何かわくわく胸躍るようなものに出会えることを信じ、出会えたらそこから更に、そのわくわくするものに関連した仕事に携われるということを信じて、そのわくわくするものに関する書籍を毎日、少しづつでも良いから読み続けて、仕事として携われる日に備えて生活されることを、お薦めします。私も、50年以上過ぎてからとなりましたが、毎日、わくわくしながら仕事させていただいております。



安田 洋祐

経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科 准教授 ゲーム理論の観点から現実社会を分析し、様々な制度設計を研究している経済学者。

中高生時代は部活動のサッカーに熱中していて、学者を目指そうとは全く考えていませんでした。ただ、当時抱いていた身近な疑問の一つが、いま研究している経済学とつながっています。その疑問は「世の中の人は、誰から命令されるわけでもなく好き勝手に行動しているのに、なぜ（日本）社会はうまくまわっているのだろう。」というものでした。特に、コンビニやスーパーなどに行くと商品があふれていて、みんなが買いたいものがきちんと買える。つまりモノの世界の秩序が保たれていることが不思議だったです。「そんなの当たり前じゃん！」と思うかもしれません、消費者が欲しいモノや企業が作れるモノに関する情報を買入（今だったらAIかも）が集めて計算したわけではないのに、きちんと必要なモノが行き届く世界って、冷静に考えるとメチャクチャ凄くないですか？もちろん、当時は疑問に自分で答えを見つけることはできず、いつの間にかそんな疑問を抱いていたことすら忘れていましたが、大学に入ってミクロ経済学という講義を受けたときに、その答え（にとても近い説明）と出会い、一気に視界が広がりました。この時の感動と興奮が、学者を目指す決定的なきっかけになったと思います。月並みでちょびり強引ですが、何ごとも当たり前だと思わずに、何かに気付いたら素朴な疑問をぶつけてみると、皆さんの将来がエキサイティングなものに変わるかもしれません。

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル 後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪府教育委員会 / 京都府教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 京都市教育委員会 / 茨木市教育委員会 / 大阪私立中学校高等学校連合会(予定) / 京都府私立中学校高等学校連合会 / 兵庫県私立中学校高等学校連合会 / 奈良県私立中学校高等学校連合会 / 三重県私学協会 / 一般財团法人大阪教育文化振興財団 (2017年9月末日現在)

応募受付 / お問い合わせ ※選考に関するお問い合わせはご遠慮ください。  
ナレッジイノベーションアワード事務局  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪  
ナレッジキャピタル7階 K708  
株式会社スーパーフェスティバル内(担当:西川)  
Tel:06-6131-6881(平日10:00~18:00) Mail:kia@kia-i.jp

